

まなび



発行者
長岡中央綜合病院
看護部長室

2021年2月26日発行
令和2年度 第7号

今シーズンは、災害級の大雪と暖かい日が繰り返し訪れました。通勤に苦労した人も多かったのではないのでしょうか？春一番も吹き、もうすぐ春が訪れますね。

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、院内外の研修方法は大きく変化した1年でした。幸い、院内の経年別・役割研修は感染対策を講じ、おおむね例年通り行うことができました。院外の研修については中止されたものも多くありましたが、オンラインの研修等を活用する機会が増えました。オンラインでの研修や学会、シンポジウムが増えたおかげで、これまで参加することが難しかったものに参加することができるようになりました。ただ、現地のおいしい物をいただく楽しみはなくなりました。



ローテーション研修Ⅳ (HCU)

目的: 他部署の看護実践を体験し、
看護の視野を広げる



- ・重症化リスクが高いことを念頭に置き看護していた。
- ・モニター管理だけでなく、患者に触れたり表情を見たり、五感を使って変化を見逃さないことも大切。
- ・疼痛コントロールをすることで、重症である中でも安楽に過ごせるように援助していた。

などの学びがありました。

受入側のHCUのスタッフからは、「急性期と終末期での家族の関わり方の違いをお互いに意見交換することができた」とローテーション研修で新人を受け入れることで、受け入れる側の先輩看護職にも良い刺激となりました。

ローテーション研修Ⅰ(病棟)、Ⅱ(透析室・手術室)、Ⅲ(救急外来)、Ⅳ(HCU)を通しての振り返り

- ・自分の勤務する病棟以外のいろいろな視点で看護を見ることができるようになった。
 - ・普段の看護との違いや場所が違っても変わらないところもあることが分かった。
 - ・研修を通し、他部署との連携の重要性や、多職種の連携が必要不可欠であることを知ることができた。
- 他にも多くの学びを得ることができました。
ご協力ありがとうございました。



糖尿病看護研修 トスガニアン

フィジカルアセスメント研修



看取りのケア研修



12ヶ月フォローアップ研修の様子

プリセプター・実地指導者として1年間新人を支えていただきありがとうございました。
うまくいったこと、いかなかったこと沢山あったと思いますが、みなさんも新人も大きく成長した1年間でした。
次年度は、プリセプター・実地指導者の経験者として新人やプリセプター・実地指導者の支援をお願いします。
さらに「ともに学び、ともに育つ」環境に一緒にしていきたいと思います！

新人



先輩から嬉しいメッセージも届きました！

プリセプター



2年目になる新人も引き続きサポートしていきます

次のプリセプターの相談役になりたい

実地指導者



部署全体で育てていくことが大切だと学びました

今後、根拠のある指導をするために、一緒に学ぶ姿勢を持ち続けたい

大坂なおみ

「全豪オープン」2年ぶり2度目の優勝



前回の優勝に引き続き「チームなおみ」の絆について取り上げられています。

記者会見でメンタル面の好調さの要因を問われ、チームに対する信頼について次のように語っています。

「チームに対し、より心を開くこと、試合前にはウィム(コーチ)とよく話し合い、緊張を一人で抱え込み、解決しようとするのではなく、それを伝えてきたことだと思います。自分がしっかりつながっていると感じます。試合に負けたとしても、家族には決して嫌われることがないように、自分の愛する人たちは私を愛してくれると分かっています」<https://news.yahoo.co.jp/>

「チームなおみ」に負けない「チーム長中」を進化させていきましょう。

